

第2節 介護職の仕事内容や働く現場の理解 テキストP, 8~

1. 介護サービスを提供する場の実際

<訪問介護>

○どのようなサービスか？

- ・「 _____ 」
→ _____ や _____ により家庭内での家事が困難な場合に、原則として1ヶ月以内の期間で臨時に雇用した家庭養護婦を派遣する
- ・「 _____ 」(1963年)
→ _____ が制度化される。一人暮らしの低所得高齢者に対して、主に相談相手(話し相手)や家事の援助を行う。
- ・「 _____ 」(1989年)
→ _____ が位置づけされる。老人家庭奉仕員も _____ という名称で登場
※相談援助・家事援助に加え _____ なおの身体介護も行う
- ・「 _____ 」(2000年)
→ ホームヘルプサービスは _____ の一つとして _____ に制度化された。
ホームヘルパーは _____ と呼ばれるようになる。

○どんな人たちが利用しているのか？

- ・要介護度：
※利用者の特性に限定はない
- ・身体介護と生活援助に類型化される・・・要介護度が軽度→ _____ の比重が重い
要介護度が重度→ _____ の比重が重い

○どんなケアが行われているのか？(=援助の視点)

- ・利用者の家に訪問： _____ で具体的なサービスを提供
- ・利用者によって手順や手段が違う： _____ がある
- ・こだわり： _____

課題

- ・テキストを見て、プリントの空欄を埋める
- ・プリントのまとめ方を参考に、②通所介護、③グループホーム、④小規模多機能型居宅介護
⑤介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、⑥介護老人保健施設、⑦軽費老人ホーム(ケアハウス)
⑧障害者支援施設について、ノートにまとめる